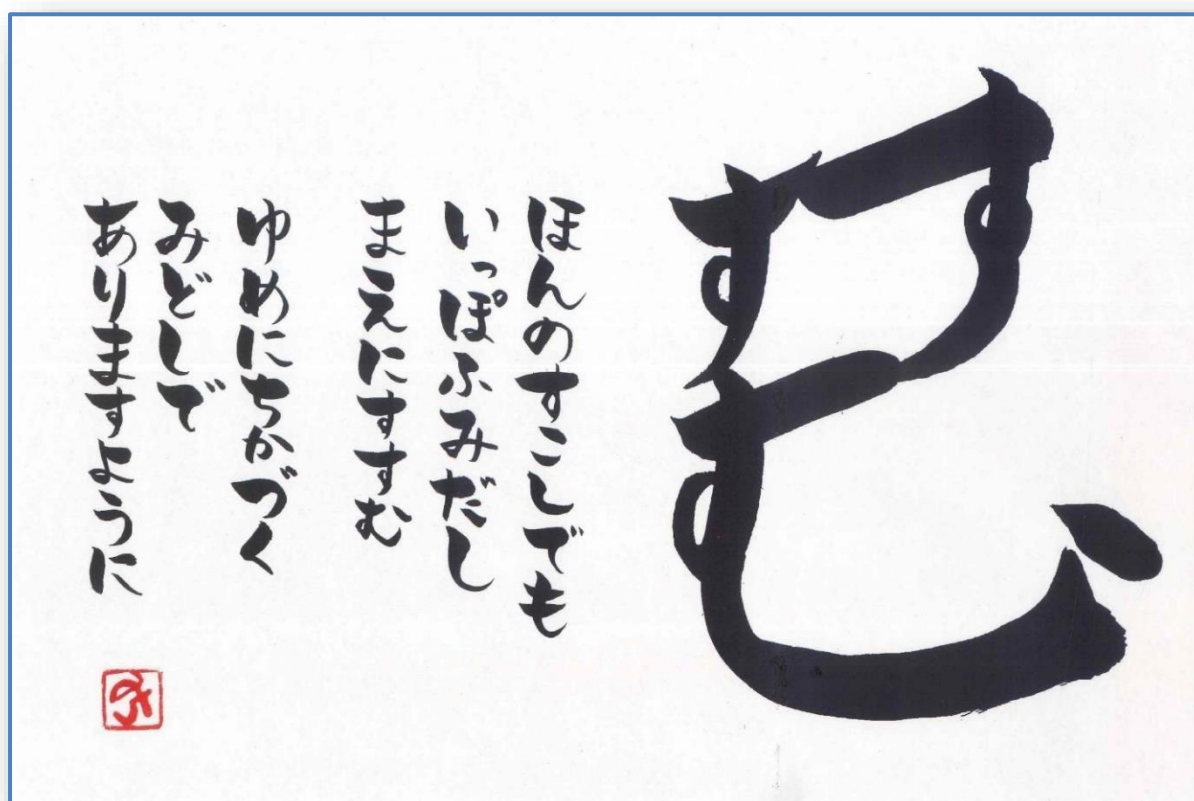




今年は巳年、前に「すすむ」年でありますように！

令和7年が始まりました。令和6年の元旦には、能登半島で大きな地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。あれからもう一年。「光陰矢の如し」という言葉の通り、時の流れは本当に早いものです。

「あの時〇〇しておけばよかった…」(準備が足りなくて)失敗してしまった…」という後悔をなるべくしないような1年にしたい。過去のことは決して変えられませんが、これからのこと、未来のことは自分の心構え次第で何とでもなる。口だけではなく、行動する1年、前に進む1年にしたいという決意を新たに、精いっぱい頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



ところで、年末年始、テレビ等でよく耳にした「ケセラセラ」という言葉。この言葉がタイトルの歌を歌っているグループが大賞を受賞していました。また、つい先日、休校となる学校の子どもたちと一緒に、その歌を歌うという番組も見ていました。4人の子どもたちの姿に、とても感動しました。

「ケセラセラ」。実は私が好きな言葉の一つです。スペイン語 (Que ser á, ser á) で、「なるようになる」という意味です。その昔、もともとはサスペンス映画の中の挿入歌のタイトルでした。ですので、「ケセラセラ」というと、大賞をとったグループの歌というより、この映画の挿入歌のメロディーを思い出します。

また、似たような言葉で「セラビー」というフランス語 (C' est la vie.) もあります。「これが人生」という意味です。「人生って素晴らしい！」というポジティブな時や「人生は山あり谷あり、たまには嫌なこともあるよね。」「仕方ない。」というニュアンスでも使われます。

そして、英語ならば「レットイットビー (Let it be)」でしょうか。「あるがままに」と訳されています。大好きな曲の一つです。

「大変なことがあったとしても、きつとなるようになる。あるがままの自分で、人生って素晴らしい！ といつも思えるようにしたい。」 そんな気持ちになった巳年の始まりでした。